

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

山形県置賜広域病院企業団 公立置賜南陽病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	3,850	第2種該当	-	15：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

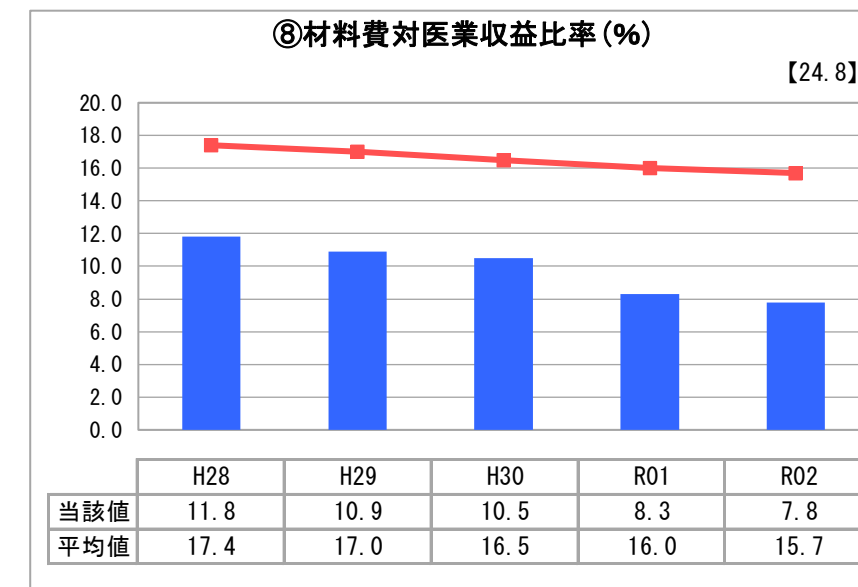
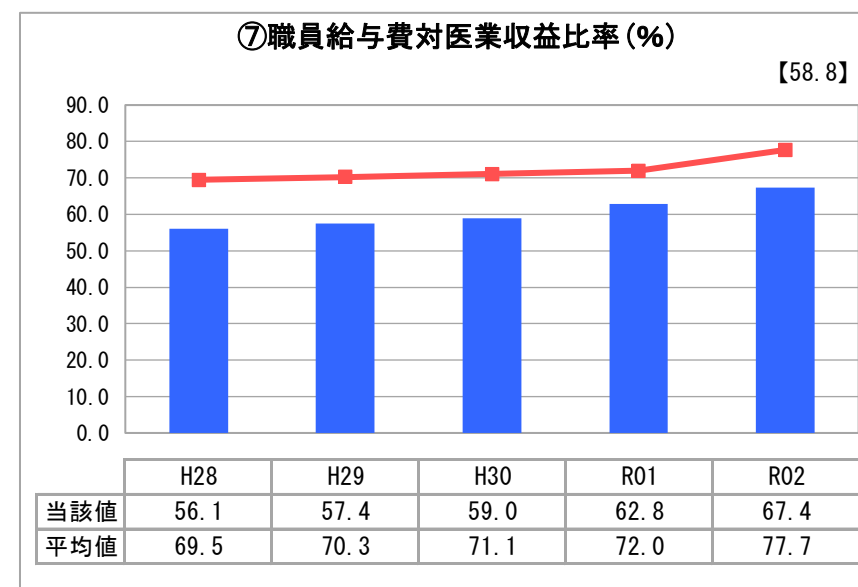
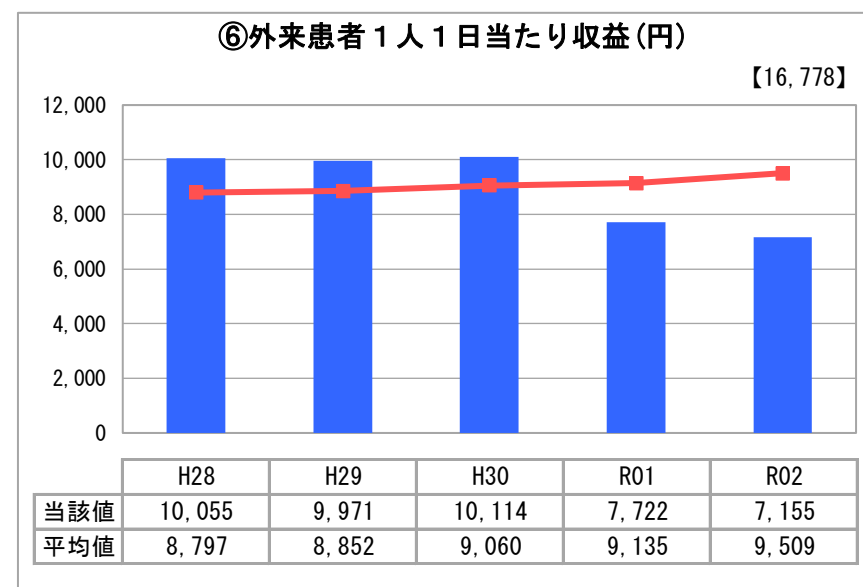
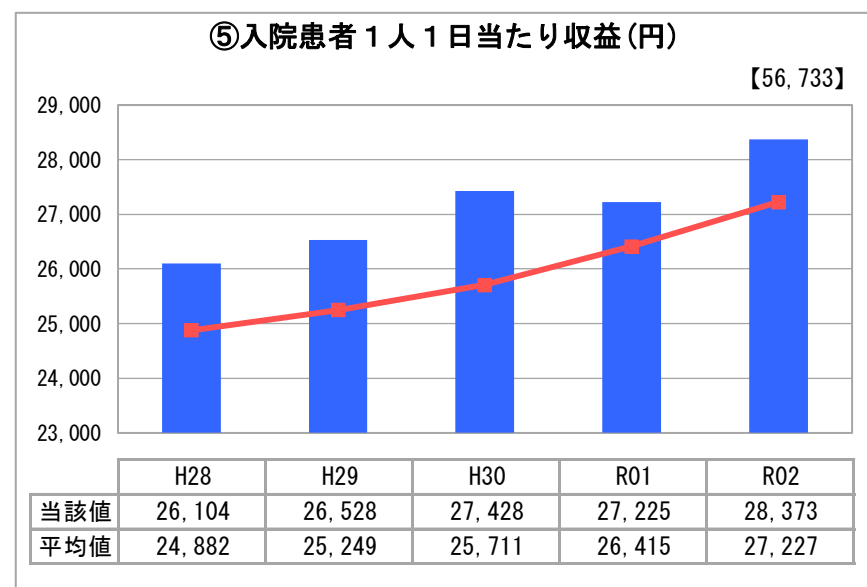
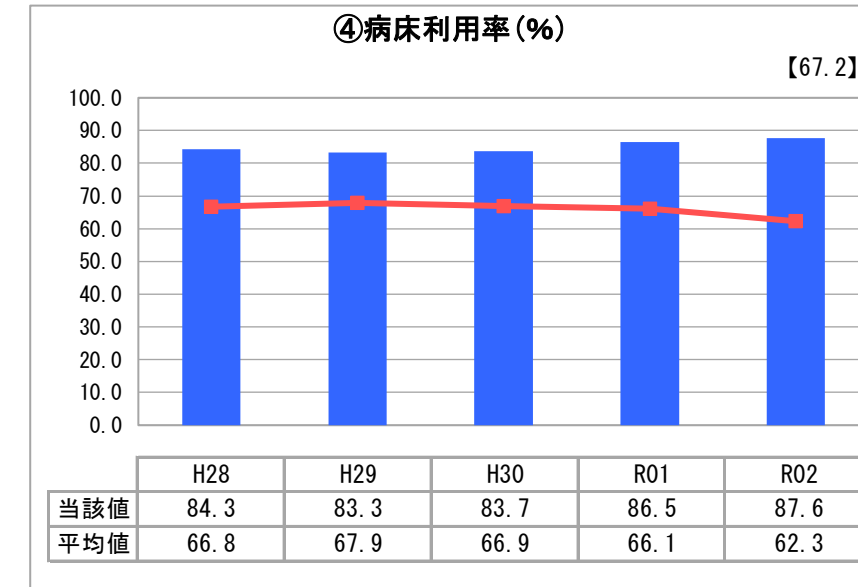
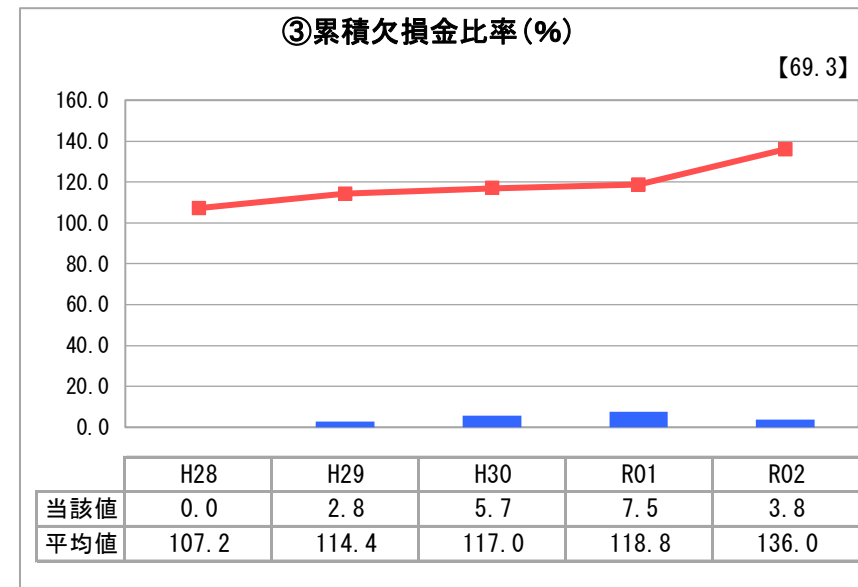
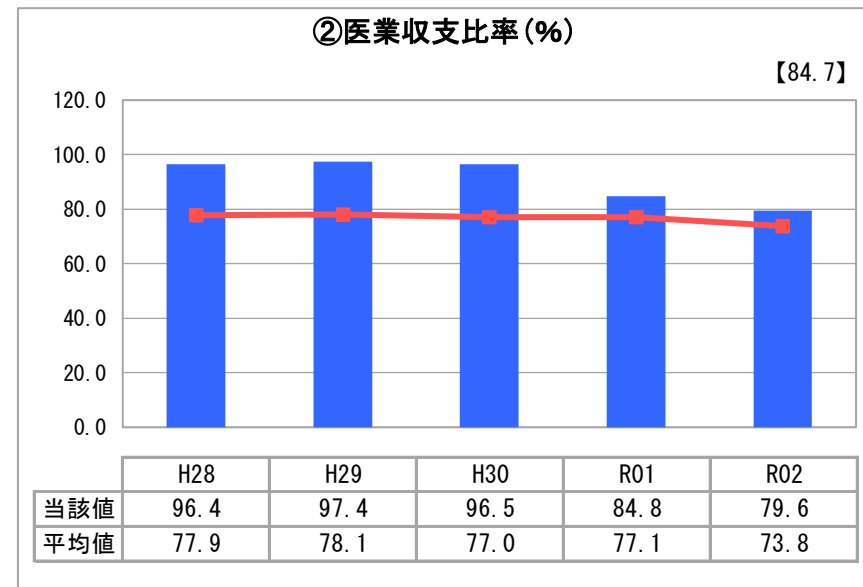
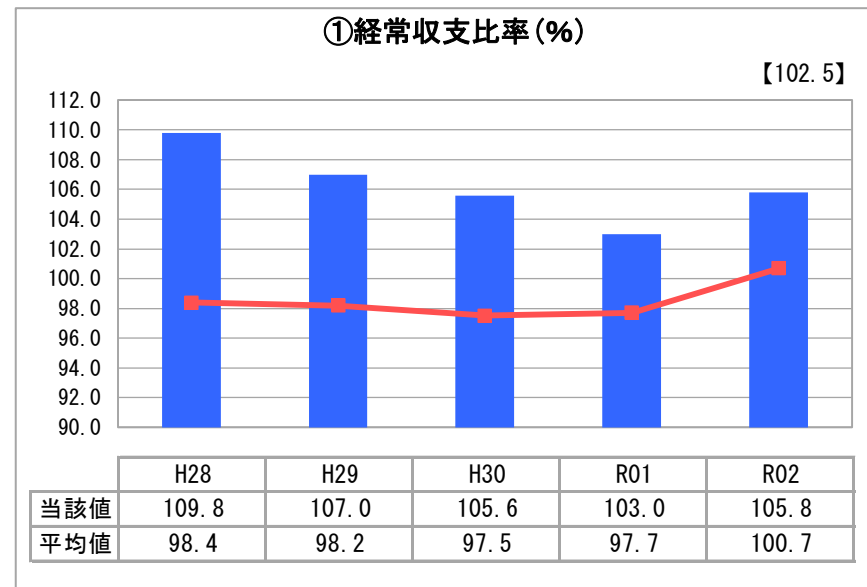
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	50
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
50	-	50

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成12年度	-年度	-年度

## 1. 経営の健全性・効率性



## I 地域において担っている役割

公立置賜南陽病院は、高度医療や救急医療を提供する公立置賜総合病院との機能分化及び密接な連携を図りながら、より住民に身近なサテライト医療施設として、初期医療や回復期・慢性期医療を提供している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和元年6月の新病院改築により、光熱水費・燃料費・修繕費等が削減されたが、減価償却費の増加等により、医業収支比率は悪化している。新病院改築後、人工透析室の廃止に伴い、「外来患者1人1日当たり収益」が平均値を下回っている状態が続いているが、それ以外の指標については平均値以上を維持している。

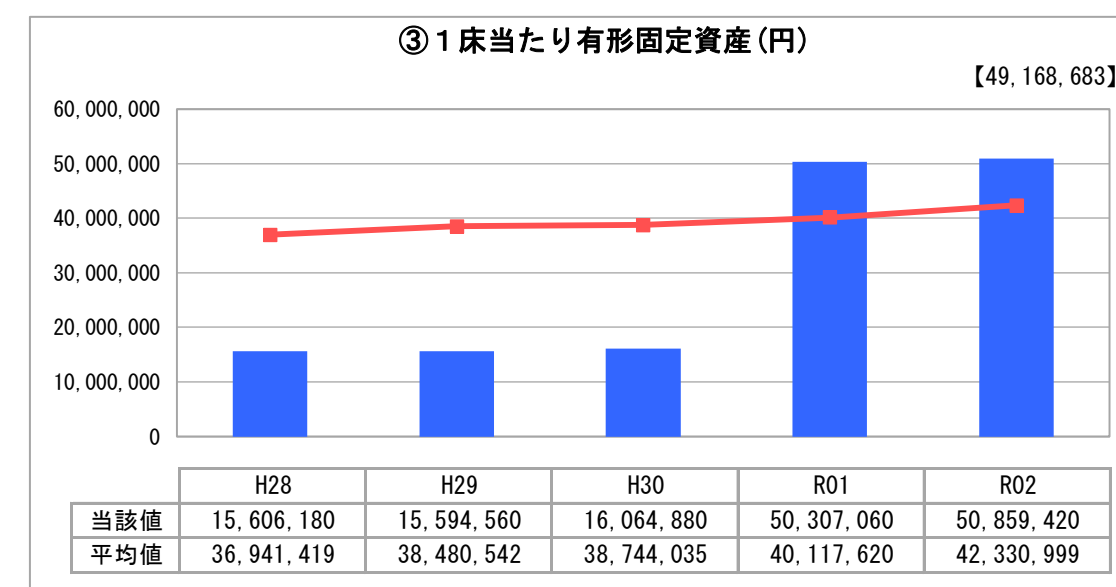
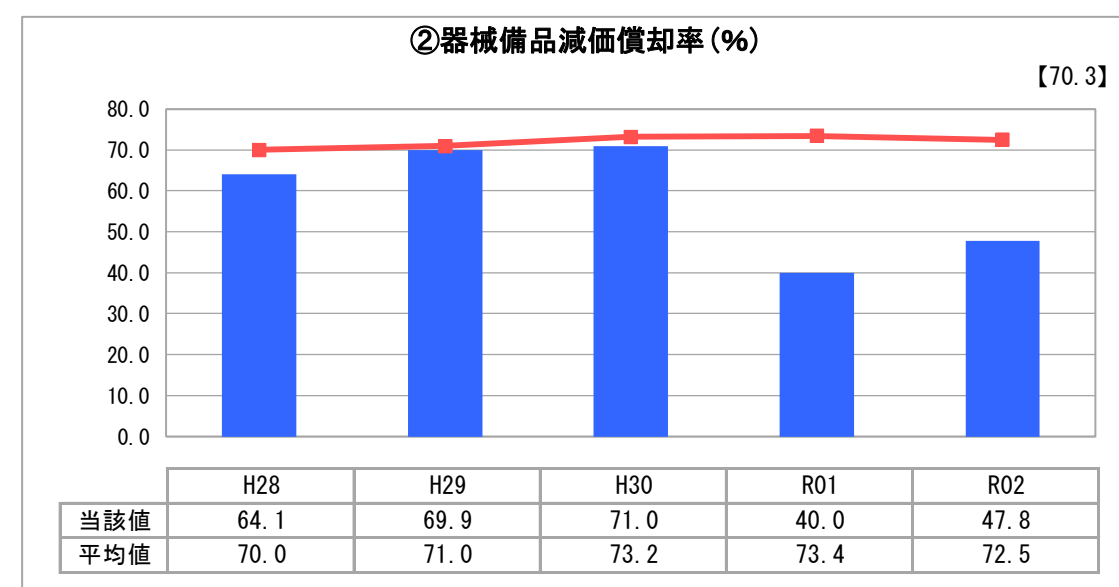
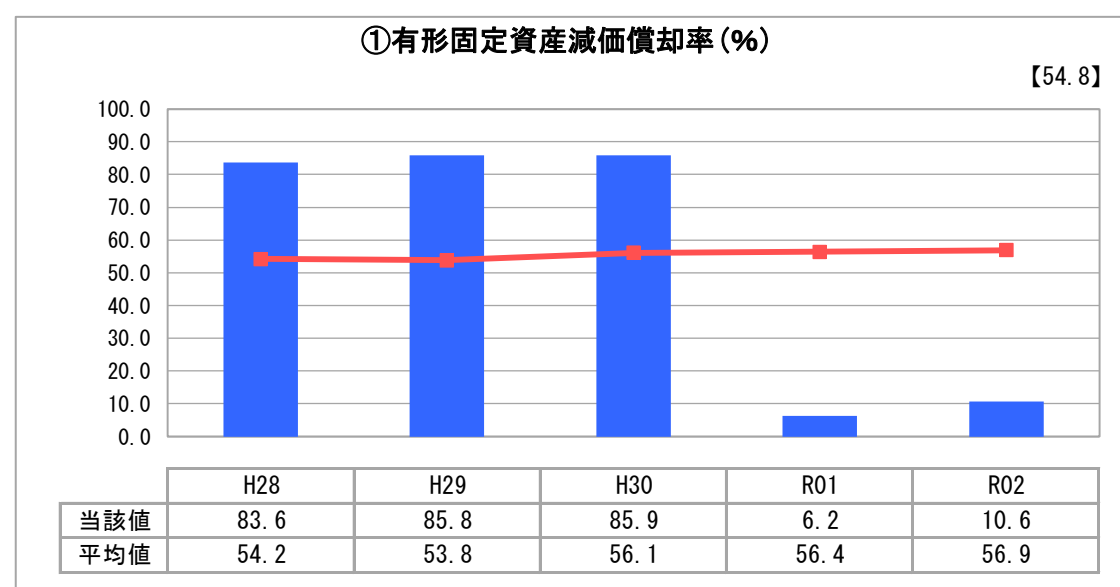
### 2. 老朽化の状況について

老朽化に伴い全面改築を行い、令和元年6月から新病院において診療を開始した。

※新病院の構造

鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上2階

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

新病院は山形県地域医療構想や各種将来推計を踏まえ、公立置賜総合病院との機能分化と連携、在宅医療の推進と連携強化を推進する医療施設として整備し、建物の耐震性能確保や患者の療養環境改善も行った。

一方で、新病院改築事業に伴う減価償却費や関連経費の増加等により、医業収支比率の低下が見込まれる。企業償還に係る負担増も見込まれることから、更なる収入の確保・経費の削減に取り組んでいく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。